

① 良かれと思って拡散したけど、実は…

2024年1月1日、石川県能登^の地方で震度7の揺れを観測した地震が発生しました。地震後、SNSには多くの地震に関する情報が投稿されました。中には、救助を求めるような投稿もありました。例えば次のようなものです。

【拡散希望】

地震で倒壊した家の中に閉じ込められています！
助けを求めています！
場所は〇〇市〇〇町です！
早く来てください！
#救助 #地震 #緊急 #SOS #拡散希望



あなたが、SNSで上記のような投稿を見つけたときどのように行動しますか？次のア～エから全て選んでください。また、選んだ理由を書いてみましょう。

- (ア) すぐに消防に連絡し、救助を要請する。
- (イ) すぐに自分のSNSでもリポスト(拡散)する。
- (ウ) 投稿者の他の投稿を確認するなど、投稿者がどんな人物が確認する。
- (エ) 何もしない。

【選んだ理由】

※考えを他の人と共有し、話し合ってみましょう。

災害時にSNSに投稿された情報が元となり救助に繋がった例もあり、災害時に情報を発信したり入手するためのツールとしてSNSは効果的です。しかし、SNSの投稿の中には偽^{にせ}の情報が含まれている可能性もあります。実際に、2024年1月1日に石川県能登^の地方で発生した地震の際にも、救助を求める偽^{にせ}の投稿が相次ぎました。こうした偽^{にせ}の投稿の発信源には、海外のものとみられるアカウントも多くありました。

一部のSNSでは、課金しているユーザーが一定のインプレッション(閲覧数^{えつらんすう})を獲得した場合に収益が得られる仕組みがあります。ユーザーの中には、収益化のためにインプレッションを稼ぐ、いわゆる「インプ稼ぎ」のために偽^{にせ}の投稿をしている可能性もあります。写真や映像とともに投稿されているものもあり、そうした投稿は信ぴょう性が高く見えます。しかし、最近では生成AIが普及し、写真や映像を簡単に作成することができるようになりました。写真や映像そのものが偽物^{にせ}の可能性もあるので注意が必要です。

こうした偽^{にせ}の投稿が拡散されると救助や避難の際に混乱がおきることがあります。災害時など、悲惨な状況を見聞した人は感情的になり情報を拡散するなどの行動をとってしまうことがあります。そうした行動の源となっているのは、「なんとかしてあげたい」という「善意」です。人々の「善意」が、逆に混乱をまねくことに繋がってしまう可能性があるのです。

偽^{にせ}・誤情報に振り回されて失敗しないためには、どうしたらいいでしょう？

※考えを他の人と共有し、話し合ってみましょう。